天馬だより 秋号

2021年10月25日　発行
〒057-0171
浦河郡浦河町字西舎124-1
社会福祉法人わらしべ会
浦河わらしべ園
TEL　0146-28-1801
FAX　0146-28-1991

「 コロナ禍に想う 」

浦河わらしべ園
施設長　上中　正人

暑かった夏もすぎ、すっかり秋めいてきたここ日高・浦河ですが、皆様にはご健勝でお過ごしのことと存じます。寄稿中の現在、コロナ新規感染者は減少の一途で少しずつ経済の回復に向け、世間が動き出そうとしています。

私どもも、入所施設と同一施設を使い運営している通所生活介護の新たなスタートや入所利用者さんたちの外出・ご家族の面会や行事のあり方などに準備を取り進めているところでありますが、コロナ禍の共同生活の中に「個」をいかに大事にしていくか、ワクチン接種など社会的ルールも考えながら、まさに個別支援をどう考えていくか、なかなかむつかしい問題が山積しています。

また、このコロナ禍で世の中は大きく変わり、会議や打ち合わせも対面からオンラインによる会議や簡単な電話やメールで処理していこうという風潮であります。
しかしながら昭和の高度成長期に育ち、社会人となった私にとって、また福祉施設に関わっている人間としてやはり礼儀や仁義は社会にとって不可欠なものと考えており、なかなか今の時代に合わない考え方をどうしていくか悩ましいところでありますが、前号で記した「折り合いをどうつけていくか」が大事なことと思っています。

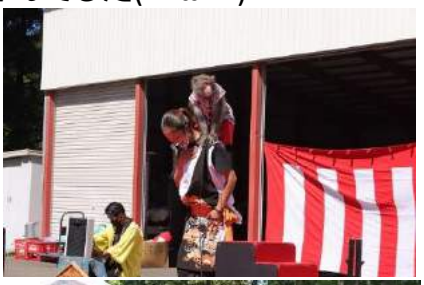
加えて、これからの世の中は「コロナ以前」に全てが戻ることなく、この2年間で人が学習した新たなルールによってつくられていくと考えています。それらを研究し、理解していくことが、また一つ新たな大きな仕事となっていくと感じています。
ワクチン接種による予防効果への期待や新たな経口薬による罹患後の病状の軽減など人の英知を結集してのコロナ対策ですが、私たちはこれまでと変わらず、マスクの着用・手指の消毒・三密状態の回避を愚直に実行していくことが一番大事と考えております。

さて、話題は変わりますが、私は施設長になり5年目を迎えています。素人で異業種からの着任で同僚や後輩（残念ながら私が一番年長者で優しい先輩はおりません）や地域の方々に助けられながら、なんとか浦河町西舎の地で過ごしてきました。職員の定着率が大幅に改善されたのが、なによりうれしい事柄ですが、私は「大過なく過ごす」という言葉があまり好きではなく、良い意味での「大波・小波」があって、守るべきことは守りながら、新しいことにチャレンジしていく姿勢を貫いていきたいと思っており、もう暫く皆様に支えていただきながら、「浦河わらしべ園」に集う利用者や働く人、多くの関係者の皆様が少しでも豊かになるよう努めていきたいと思っている、コロナ禍の想いであります。

追伸
寒い冬がまいります　どうぞ皆さまご自愛ください。

ミニわらしべ祭

今年もやりました(^_-)-☆開園して25年の節目に、今まで呼んだことのない催し物を呼ぼう！と、なり、猿回しを呼びました(=ﾟωﾟ)ﾉ
おサルさんが登場すると皆さんｶﾜ(･∀･)ｲｲ!!と大はしゃぎ♪他にも職員による尻相撲を楽しみ、罰ゲームのケツバットを職員が受けると爆笑の嵐(笑)夜には好評だった花火大会を行い、去年よりもバージョンアップした花火に歓声が鳴り止みませんでした(*´ω`*)



新福祉車両納車式

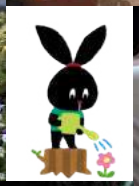
「赤い羽根共同募金」の助成を受けた福祉車両の納車式を８月２４日大安の日に園舎前と西舎神社で執り行いました。
「赤い羽根サポーター宣言」により、クルマを送ろうプロジェクト、北海道コンサドーレ札幌塗装の福祉車両とし浦河町共同募金委員会会長小泉睦子様より贈呈と、この日を楽しみしていた多くの利用者の皆さんが参列し、いろんなところへ行けるのを楽しみしているようです(*´艸`)

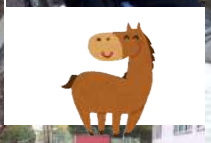
秋の交通安全街頭啓発

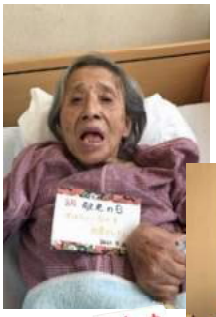
町内一斉での街頭啓発の日。大雨のため１日延期しての街頭啓発を行いました。肌寒くなってきた中でも朝早くから、街頭啓発運動に集まってくれた利用者さんたちは大きく旗を動かしたり声を出して交通安全を呼びかけました。

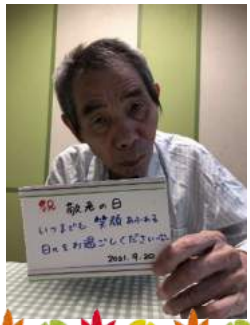
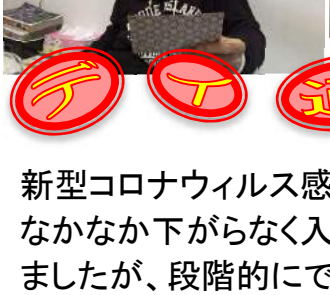
日常風景

園内で過ごされている皆さんの様子です！







秋の避難訓練

年2回行っている避難訓練ですが、今回は夜間中に災害が起きた場合を想定して行いました。夜間帯での人手が少ないとの想定で職員の人数も絞って行いました。訓練することでもしもが起きた時もしっかり行えるようにしていきます。

職員研修

救命講習会

救命講習は浦河消防署に講師としてお越しいただき、職員一人一人がきちんとした知識を持って万が一に備えるため行っております。虐待防止研修会では日々の支援で虐待に繋がる可能性があることを自覚し、どのように支援していくかを深く考える時間となりました。

虐待防止研修会

職員紹介

新しく入職しました職員をご紹介します。

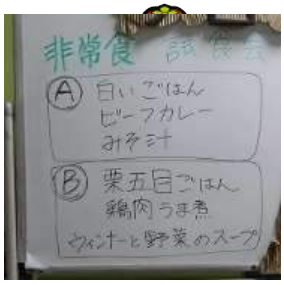
生活支援員

山本　圭介

特養での経験を活かし、新しい事も一つ一つ覚えて戦力になれる様に頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

非常食試食会

9月1日防災の日に合わせて行っている非常食食事会を今年も行いました。当園にて保管している非常食の消費期限が近いものを使い、職員利用者共に使用の仕方なども確認しながら、美味しくいただきました(*'ω'*)



生活支援員募集中

年齢・資格不問・未経験者OK詳細について興味のある方ぜひご連絡ください！！

電話番号：0146－28－1801

メール：urakawa-warashibe@deluxe.ocn.ne.jp

おとがき

紅葉が枯れ葉に変わり、初雪のたよりが届くようになるこの時期は何となく物寂しい気持ちになりがちです。秋から初冬にかけては、そんな気分を払拭するために、9月はミニわらしべ祭、焼き芋レク、10月ハロウィンレク、11月に寿司バイキング、12月の冬レクと園内で完結できるイベントを、創意工夫しながら実施しております。

「コロナ禍」といわれる時代もワクチンの普及や新薬の開発により、ほんの僅かではありますが、出口への希望の光が見え始めてきました。園では、慎重に感染状況を見極めながら、最大限の注意を払いつつ、段階的に利用者の外出やデイサービスを再開しました。今後も感染症対策に気を緩めることなく、「コロナ禍」で出来なかったことが少しずつ出来るようになればと心から願うところです。　次回は年明け1月に天馬だよりをお届けいたします。

月間予定表

11月
- 寿司バイキング

12月
- クリスマス会
- 年忘れ飲酒会

1月
- 騎馬参拝
- 2022年　新年会